

令和8年7月号（セトナ R8年6月撮影）

マンネンタケ（靈芝）（R8.6.14 撮影）



薬用きのことして、古くからりようされてきたキノコです。現在では人口栽培も行われるようになっています。大府市のセトナでも、コナラの木の根元などに良く生えています。小さいうちは黄白色ですが、大きくなるとだんだん暗褐色になってきて、木のような硬さになります。

（R8.6.22 撮影）



左の写真は、上の写真と同じキノコを撮影したものです。キノコの中では、成長が遅いキノコだと思います。左の写真もまだ成長段階なので、色がまだまだ黄色っぽいですが、もう少し大きくなると、暗褐色になり、飾り物としてもなかなかかっこいい感じになります。